板一中　小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）

板二だより

令和８年度１１月号
令和８年１１月４日
学校情報化優良校・国連ユネスコスクール認定校
板橋区立板橋第二小学校
板橋区教育委員会研究奨励校・小学校教科担任制等加配校
校　長　小 澤　　裕 行

板二小ホームページ　QR コード

いよいよ２学期も後半へ　～音楽会へのご来校、ありがとうございました～

校長　小澤　裕行

秋の深まりとともに、校庭の木々も鮮やかに色づき始めました。朝晩は冷え込む日が増えてまいりましたが、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。先日実施した音楽会には、ご多用中にもかかわらず多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。ステージ上で緊張しながらも、これまでの練習の成果を発揮しようと懸命に歌い、楽器を奏でる子供たちの姿は、大変立派でした。客席からの温かい拍手や表情が、子供たちにとって大きな自信と達成感に繋がったと感じております。ご家庭での励ましや体調管理のご協力、そして当日の温かいまなざしを本当にありがとうございました。

さて、音楽会という大きな行事を終え、いよいよ２学期も後半へと入ります。２学期後半は、行事を通して深まったクラスの絆や高まった集中力を、日々の学習や生活へとしっかり繋げていく大切な時期です。寒さに負けず体を動かし、じっくりと読書や学習に取り組む「実りの秋」となるよう、教職員一同、子供たち一人ひとりに寄り添いながら指導を続けてまいります。

本校では11月を読書旬間としています。「読書」の効用の話をよく耳にされると思います。知識が増えるとか、語彙力が増すとか、思考力が付くとか、表現力が身に付くとか……確かにその通りですが、子供たちの様子を見て私はずばり「心を落ち着かせる」きっかけになることが最大の効用だと考えます。本の世界に入り込むことで、日常の雑念や情報の洪水から距離をおくことができ、自身の中にあるイライラ感や慌ただしさ感が薄れ、いつのまにかリラックスしている状態になり、心を落ち着かせることに繋がると考えています。さてここで大切になるのが、読書を行う環境です。読書を妨げる「音」をできる限り排除し、読書に没頭できるような環境作りが大切です。全員が一言もしゃべらず読書に取り組む。先生方も一緒に読書に取り組む。保護者の方の力もお借りしながら、管理職も含め全教職員で読み聞かせを行うなど、本校では読書における「環境」を大切にしています。読書に取り組む「環境」はご家庭でも大切ではないでしょうか。同じ部屋の中である子供が読書をしているのにもかかわらず、一方ではテレビの音が大きく流れているとか……1日たった10分でも、そういう環境を作り出し「読書」を通して落ち着き感を与えることは決して無駄ではないと考えています。そしてこのことが個人差はあるものの、やがて集中力の向上に繋がると考えています。

日ごとに寒さが厳しくなってまいりますので、御家族の皆様もどうぞご自愛ください。今月も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。